

ポフらだより

上田市立川辺小学校
学校だより特別号
令和6年12月6日
(文責：教頭)

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果報告

本年度4月18日(木)に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象とした『全国学力・学習状況調査』が実施されました。本校の結果について報告します。

国語の結果と今後の学習について

全体的に全国正答率を下回りました。「話すこと・聞くこと」「書くこと」に課題があると思われます。問題別に見ると、「文章の空欄に取材メモを元にして書く(書くこと)」では、文章を書く際に指示された3つの条件を満たしていないものが多く見られました。「メモがどのように役に立ったかを適切に説明しているものを選ぶ」「メモがどのように役に立ったかを選ぶ」問題では、正答率が全国と比べて大きく下回りました。授業の中で発表メモを活用する場面を設定し、実際に活用する経験を増やし、メモがどのように役に立っているかを実感させるようにしていきたいと思えます。

「物語」を読んで心に残ったところとその理由をまとめて書く問題では、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり表現の効果を考えたりして回答することができ、全国を上回っていました。学校では、今後も授業の中で、自分の意見とその理由について考えたり書いたりする活動を日常的に取り入れていきます。

算数の結果と今後の学習について

全体的に全国正答率を下回りました。

領域別では、特に、「数と計算」が全国正答率を下回りました。かけ算の性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述する問題に間違いが多く見られました。答えを求めることはできていても、その求め方について書き表すことができていませんでした。図や式を用いて場面と関連付けて理解できるようにする経験を重ねていくこと通して筋道を立てて説明できるようにしていくことを大切にしていきます。また、「小数のわり算」について1以下の小数でわった場合に商はわられる数より大きくなることに間違いが多く見られました。1以下の小数をかけた場合と混同している可能性もあるので確認する必要があります。

さらに、問題の意味をつかむために、問題を読み解く力をつけていくことも必要と思われます。

道のりが等しい場合の速さについて考える問題では、その理由を言葉や式を用いて記述することができ、全国を上回っていました。

児童の生活や学習習慣に関する質問(児童質問紙)について

「学校に行くのは楽しいと思えますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を選んだ児童がおよそ80%いました。授業や様々な活動、友だちとの関係ではおおむね満足しているとみることができます。

「自分には、よいところがあると思えますか」「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思えますか」「普段の生活の中で幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」という項目で多くの児童の皆さんが「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えており、自己肯定感や自己有用感、協働的な姿勢をもって生活できていることがうかがえます。学習は、単なる知識の積み上げでは活用できません。学んで得た知識を活用していくためには、心の安定が何よりも重要だと考えます。引き続き、このような児童の意識につながるよう取り組んでまいります。

そのための一環として、教師自身が、授業の中でタブレット端末をどのように活用することが児童の主体的で探究的な学びにつながっていくのか、研修会への参加や職場での研修会等を通して積極的に学び、指導力を向上させていくことに努めていきます。

これからの時代を豊かに生き抜く子どもたちの力を育むために

全国学力・学習状況調査は、児童の学力や学習状況を把握・分析して、学校における学習状況の把握と指導方法の検証・改善につなげることを目的としています。

急激に変化する時代の中を生き抜く子どもたちです。そんな時代を自分のよさや可能性を認識し、多様な人々の価値を尊重しながら協働的に様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる子どもたちの学力の定着と向上が図られるよう、本校では、学年の発達段階に応じながら次のように学校全体で、継続的に授業改善に努めていきます。

1 安心して学ぶことのできる授業のために

- ①誰もが安心して学ぶことができるために、「一時間の授業の中の学習の流れ、めあて、まとめ、振り返り」が一時間の黒板で分かるような黒板の書き方や、「分かりやすく」「見やすく」「あたたかい」支援のある授業づくりに努めます。

2 読みとる力・書く力の向上のために

- ①タブレット端末を活用した調べ学習と並行して、新聞や辞書を活用し、内容理解や感想を文章にまとめる活動を通して語彙を増やします。また、タブレット端末への記録だけではなく、ノートや学習プリントに書いてまとめることも大切に取り組みます。

3 問題場면을イメージし、物事を分かりやすく関連させながら説明する力の育成のために

- ①問題場面や考え方の流れと広がりイメージするために、絵や図で表す活動を様々な教科で取り入れます。
- ②自分の考えを聞き手に分かりやすいように図や絵、言葉を用いながら説明する活動を授業に位置付けます。

4 学習したことの復習・定着のために

- ①火曜日の朝活動を「ドリルの時間」と位置付け、学習の復習やつまずき箇所の練習、ドリル学習などを行います。
- ②映像機器やタブレット端末を用いて、視覚的にイメージをもちながら、分かりやすい学習を進めます。

(ご家庭へのお願い)

- ③引き続き、家庭での学習を大切にいただき、家庭学習について自主的に計画し、学習が定着するように、ご家庭でも言葉がけをお願いします。